

協議会ニュース

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2003.7

89号



～面ノ木のブナ～

シロヤシオ・アカヤシオの岩岳山登山	P2
東三河支部の観察会と日帰り研修報告	P4
西三河支部/「草だらけの会」	P6
ネイチュア・フィーリング体験記	P7
事務局だより	P8
理事会報告	P10
トピックス	P11
編集部だより	P12

シロヤシオ・アカヤシオの岩岳山(1369m)登山

知多支部/菊池今朝和(きくちあさと)

5月10、11日の両日に渡り、知多自然観察会の親睦を兼ねた研修旅行が静岡県の春野町周辺で開催された。参加者は大人10名、子供8名の総勢18名だった。

10日昼は、熊に注意と書かれた立て札の立つ、水窪町野鳥の森(標高1100m)を散策した。ヒメシャラの木が多い森の中を、子供達のウサギのように跳ね回る姿には、森の精を見ているようで嬉しくなった。長駆のはて、着いたログハウス(杉峰高原)の玄関にはウサギの糞が沢山ころがり、立派なマムシがお出迎えしていた。

翌日は、平家落人と60年に一度大輪のボタンが咲くとの伝説とロマンの地、京丸のお隣の山、岩岳山登山である。夕食はひとしきり、翌日の行動スタイルが話題となつた。剣呑とした天候でもなく、また全員はじめての山ということもあり、登頂に信念のある南川さんと若い稻生さんの二人が頂上を狙い、他は時間の許す範囲までとした。また地図を見ると険しい地形のようなので子供はサンドイッチにし、安全第一で歩こうとの意見も出、私が子供担当と幹事の南川さんより引導を渡された。

私と共に歩くことになったのは、真吾君(小3)、大君(小3)、一步君(小4)、りんさん(小4)、馨君(小6)、勇気君(小6)、亜美さん(小6)、惣一郎君(中3)の、3家族の子供達であった。

ペンション「シンホニー」を7:25に出るとすぐ小俣林道に突き当たつた。以前は林道の終点まで車を入れたが、何年か前の大雪で道が崩壊し林道にゲートが築かれたという、ペンション・オーナーの話であった。淡々とした林道はおよそ3Km続いた。子供達にとっては、変化の無い道は苦痛以外の何物でもなく、「まだー」、「休もうヨ」の声が度々。それでも拾つた小枝で杖を作つたり、沢の清水で喉を潤したりと、目先を変えているうちに林道は終わり、

大きな駐車場と作業小屋のある場所に8:05分に着いた。

いよいよ山道である。やはり先年の大雨の爪跡の影響で、迂回道を抜け、明るい沢にドリルと可愛い丸太橋があった。ここからは胸を付く急登である。植林地で間伐の斧が入っていない山は薄暗いものの、道はしっかりしていた。トップの南川さんはペテランらしく堅実な歩みで高度を稼いでいたが、以外にも二番手以降に子供達が並び頑張っていた。登り始めて30分しての一服に「菊池さん、これなら全員頂上へ行けるぜ」と通称南ちゃんの南川さんが驚愕の声をあげた。そこから、南ちゃんの示唆で私がトップとなつた。二番手は一步君だった。一步君何故か、子供陣の中ではトップにこだわっていた。子供陣のしんがりは総一郎君だっただろか、弟の馨君、真吾君をそれとなく見ているようだった。20分歩いて3分休憩を繰り返しているうちに、大人チームの姿が見えなくなってしまった。

10:00。天然林となった荷小屋峠着。食欲の旺盛な子供たちはおやつだけでは物足りなく、もうおにぎりを頬張る児もいる。宿でもらつたおにぎりは子供2個、大人3個であつた。充分休憩をし、子供たちは先に行こうと述べる児と、お父さんお母さんが来るまで待つという児に分かれた。そんな時、降幡さんたちが上気した顔で登ってきた。こんななベースで子供隊先行で頂上をめざした。昼食は子供たちの食欲ますます旺盛で、私のおにぎりも、非常食のパンも小さな胃袋に収まってしまった。頂近くで思わず

帽子をとって汗を拭いていると、横から「小父さん、意外と髪の毛少なかつたんだね」と一步君の真顔。そんな時、風が変わり、雲も多くなってきたため、頂まで指呼の距離だったが子供たちにここで終わりと宣言する。思ったとおりブーイングがでたが、馨君が体調今一のこともあり、説得するとみんな分かってくれた。急な稜線の下降で、勇気君が滑ったときはハットした。彼は愛用の2本の杖を、しっかり両手で握り締めていたためバランスを崩したのだった。落ちれば怪我ですまない場所だった。緊張をほぐすように足元にはシロヤシオやツツジの仲間が彩っていた。帰途分基点で躊躇すると後ろからりんちゃんが「こっちだよ、私覚えている」と頼もしい声。シロヤシオなどのふわふわした樹林帯を走りぬけ、あっとゆう間に荷小屋峠に着いた。手帳を破り大人隊へ先に行きます、とのメモ書きをしたら字を間違ってしまった。と、すさかず亜美ちゃんが、修正ペンを出した時には驚いてしまった。ちょっと疲れが出て、みん

なの行動がバラバラになってきたので、早く着いたら小川で水遊びをしようと提案した。みんな元気に目が輝いた。そこからは尻取りゲームをしながら走るようにして下った。登山口の小川で30分ほど遊び、林道を歩き始めると小雨が落ちてきた。残り500mの地点で総一郎君と勇気君が競争とばかり駆け出した。それをみて一步君と大君がせり、走り出した。その後を私が追いかけたが、後続のりんちゃんに悔しいことに抜かれてしまった。子供たちの元気のよさ、粘り強さ、明るさを久しぶりに感得した素晴らしい山行であった。みんな有難う。最後に『あらしのよる』で数々の賞を獲得した、絵本作家きむらゆういちさんの言葉をもって締める

「子供教室を手がけていて、こどもというものは、年齢や身長・体重が大人の三分の一であるだけで、まったく大人と同じなのだということを知りました」まったく同感である。

東三河支部の観察会と日帰り研修報告

「春の山、笑うがごとし」～春らんまん、サクラ・ツツジの山～

吉祥山の自然観察（地域自然観察会）

4月13日(日)：会員20人・一般68人

大勢の参加者を迎える、南の尾根を登る班と、北の谷を登る班に分け、すれ違い一周のコースを組みました。少しもやつていましたが、上々の天気で、うぐいすが盛んに歓迎してくれました。

柔らかい芽吹きの緑に、ヤマツツジやミツバツツジの紅がはえていました。

今年度の定例観察会はこの吉祥山で開き、四季の変化を楽しみます。毎月の第二日曜日9時30分～、吉祥山南西麓、豊橋市民の森の駐車場に集合です。今回は特番でしたが、このシリーズは3月9日(日)より始まっており、3月には、スミレをメインし、スミレの仲間、シュンラン、ハルリンドウ、ダンコウバイが見られ、5月には、キンラン、シュウラン、シライトイウが見られました。



～吉祥山の紹介～

豊川の流れが山あいから豊橋平野へ出る所、そこに標高382mの単独峰の吉祥山が座っています。豊橋市、新城市、一宮町の境界に位置するこの山は、角閃石を多く含む角閃岩を岩盤にしているちょっとめずらしい山です。新城側はゴルフ場、一宮側は採石場に使われています。豊橋側は近年、市民ふれあいの森を名付け、遊歩道の整備や植樹をすすめ、気軽に親しめる場としています。

「シコクスミレなど春の草花観察」 面の木園地4月27日(日) 参加者17人

歩く植物図鑑の天野保幸さんと瀧崎吉伸さんとなれば、観察は鉄壁。一番のお目当てはシコクスミレ。少し早かったかなと言うけど、結構群落も見られました。山道には「クマに注意」という表示、地元の人がツキノワグマを見たそうです。特別にぎやかい小学生を先頭にすれば、クマが逃げるだろう。大きなブナの木の下で大宴会、実はこれが楽しみで、と、本音が出たり

して。倒木を乗り越え踏み越えの谷くだりは少しきつかったけれど、沢でサンショウオにも会えたし、トウゴクミツバツツジのお花見も心ゆくまでできたり、幸せな一日でした。この他の観察として、ウスギヨウラク、マイヅルソウ、ユキザサの蕾やヤマウツボ、ミヤマエンレンソウ。

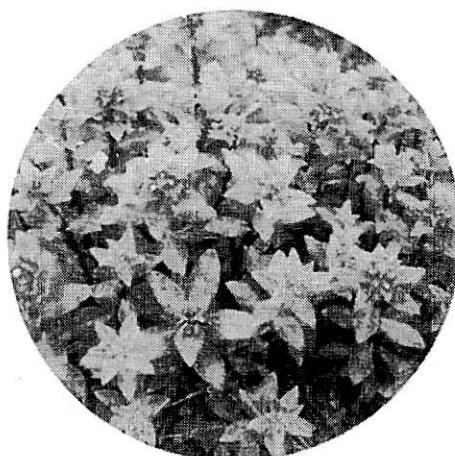
「ハマウツボの観察と海浜植物観察」 5月17日(日) 参加者13人(一般者含) 伊良湖周辺

先回のヤマウツボを見たから、今回はハマウツボだと張り切って出掛けた面々、天気は南へ下がるほど悪く、何度も傘を開いたり閉じたりでした。肝心のハマウツボは一ヶ所しか見つけられず、あちこち歩き回りました。ハマヒルガオ、ハマポッス、ハマエンドウ、取り敢えずハマさえつけておけば格好がつきそう。

灯台下の磯には、アメフラシがぞろぞろ。天気はこいつらのせい? 取れたてのワカメやヒジキも試食。これも悪くないね。やっと晴れて

きた西の浜の松林ではハルゼミの大合唱が聞かれました。ウマアブのような小さい体に似合わぬ大音声、ちょろちょろ飛び回っているうち、つかまってしまう愚か者もいて、しっかり観察できました。

※ヤマウツボとウミウツボについて解説(天野保幸さん) 寄生植物の代表株。他の寄生植物としてヤドリギ、ナンバンギセル、ヤッコウソウがあります。



報告・東三河支部/間瀬美子

『草だらけの会』

～西三河支部 平戸橋自然観察会～

“豊田ひまわりケーブルテレビが取材にやってきた！”

平成6年5月に立上げた平戸橋自然観察会は今年は今年の春3月に107回目を迎える。参加者を20名を超える地域の人達と共に豊かな自然いっぱいの平戸橋周辺の春を満喫しました。せっかくのテレビの取材を受けるとあって参加は多く来てくれるのか？天候は良いだろうか？当日が来るまで心配でしたが、好天に恵まれ参加者もいつも来れない人も現われ、やはり「案ずるより産むが易し」を実感！！3月下旬の好天下とあって『草だらけの会』の最ももえる時季、タンボボ・ヒメオドリコソウ・ブタナガ咲き乱れ東海地方の桜前線があと一週間と言うのにつぼみを大きくふくらませており、越戸発電所（中部電力）脇の老桜は早くも咲いているものがあり、参加者の目を楽しませた。

『草だらけの会』は昨年の夏8月25日に100回記念を迎えました。過去に3周年、5周年、そしてこの100回記念にはくぎりの記念に矢作川の接する越戸ダム湖上流の左岩「かんぱち」というリバーサイドレストランがあり、30名を超える参加者と共に自然を見つめ、これから地域の発展を考えようと食事会と招いた来賓の挨拶を願い節目を祝い、会のあり方を方向づけて充実した催しになりました。

いよいよ来年5月第4日曜日には10周年を迎えます。私は会の発展と言う事については、ちょっと変った考えかもしれません、呼びかけしないでも来てくれる会にしたいと思ってい



る。高齢化が急行している今、ここまで自然に親しんだ人達だから今更自然の大切さを説かなくて百も承知、一応の案内はするが更なる呼びかけはしない様にしている。自然の学びは自然に集った人たちで学び語らい心を癒す、これであると思う。“癒す”は最近流行語になっている様だが、昔から本能的に人と生きており、人には癒しがないと生きてゆけないのかもしれない。時は流れ、人間が環境に悪い物を多く造り、壊し、また新たに悪い物を造る、人間は人間に害する物をどんどん増やして地球を悪化させているのである。人間は人になり、人は自然に帰る生物なのです。わかっていても出来ないで悩んでる人が私を含めて沢山いる現状・・・です。こんな一人言が無言の呼びかけにならないかな～と思っている『草だらけの会』平戸橋自然観察会です。もし気が向いたら足を運んでください。協議会には、トンと雑用で遠くなっていますが、仲間意識はしっかり持っていますので、今後共宜しくお願ひいたします。

『草だらけの会』平戸橋自然観察会の定例会のご案内

毎月第4日曜日、集合場所は平戸橋いこいの広場、午前10時出発

目的・・・平戸橋周辺の自然にて地域の癒しを計る。

報告・西三河支部/山原勇雄

ネイチュア・フィーリング体験記

●ネイチュア・フィーリング観察会●

4/29のみどりの日は、ちょっと風はありましたが良い日でした。新宿御苑は都心なのに緑が豊かで、比較的静かなのに驚きです。新宿駅から野山に行く様な服装の人達がどんどん増えて同じ方向へ流れます。その中に私もいます。そして到着。参加総数91名で内指導員は30名、10班編成で10時～12時まで楽しみました。私の班のリーダーは刈谷での研修会にスタッフで来ていた目の不自由な瀬川三枝子さん。彼女を同伴して生まれて初めてのネイチャー・フィーリング観察をスタッフとして体験しました。そして、体感から彼女から次の事を学びました。何を観察するのかを決め付けておかず自

由に観察する、発見して感動の声を上げた人の傍へ全員が集まり、五感を使って感動を共有する。慌てずにゆっくり観察する。等々

当日は環境省主催で各種団体主管のウォークアリー、ネイチャーゲーム等が実施され一万人ぐらいの人出でした。(報告・木戸)

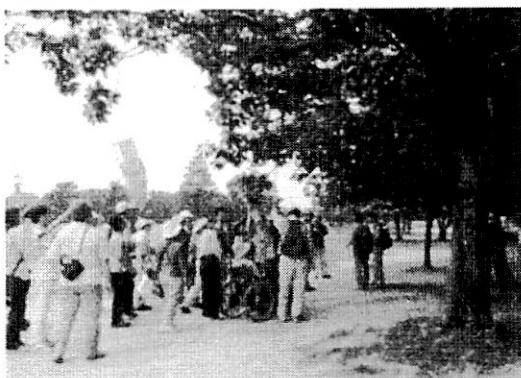
●第7回庄内緑地ネイチュア・フィーリング●

庄内緑地ネイチュア・フィーリングも二年目に入りました。5月の新緑の公園に41名も参加してくれました。その内24人がリピーターというのはうれしいことです。今回は目の不自由な方が7人参加され、4人の人にはスタッフが一人ずつ付き添いました。付き添ったスタッフの感想を挿入しましょう。

「カナムグラを触っていた〇さんが、ベトベトする。あっ？ 刺だ！(何度も指で葉をなでて)あれ？ 茎のほうに向かって生えているのかな？ そうだそうだ。という言葉に自分も葉をなでて発見」いつも参加者から発見をもらいます。

やさしいご主人が押す車椅子に乗って毎回参加してくれるご婦人。彼女は絵を描くので折れてしまったセンダンの花をさしあげました。知的障害のY君はいつものように、何かを発見するとちょんちょんと私の肩を叩いて、あれなあ

に？と聞きにきてくれます。そして、皆の興味を引いたのはテントウムシの幼虫と蛹、もちろん成虫もいました。これも参加者の人が発見してくれました。テントウムシになる過程を見られて大喜び。参加者の人達と分かち合う発見と喜びは次の観察会へのエネルギーになります。



(報告・杉浦節子)

■事務局だより

平成15年役員及び理事

※()内は担当内容

会長 大竹勝

副会長 中西正 松尾初

監事 間瀬美子 鬼頭弘

理事 石田晴子(会計) 大谷敏和(研修) 近藤記巳子(事務局)

佐藤国彦(管理:受託事業) 斎竹善行(管理:名簿) 川賢治(広報)

符川真弓(編集) 堀田守(企画:議案作成) 吉田裕孝(編集)

吉川洋行(普及:リーフレット作成) 山田博一(観察会)

長谷川洋二 滝田久徳 降幡光宏 山原勇雄 梶野保光 今泉洋良

～よろしくお願ひいたします～

平成14年までの役員及び理事

大竹勝 中西正 竹内哲也 間瀬美子 斎竹善行 佐藤国彦 鬼頭弘 松尾初 青木雅夫
降幡光宏 加藤寿芽 梶野保光 杉山茂生 長谷川洋二 山田千宏 山原勇雄 岡田速
北岡明彦 篠田陽作 水鳥富人 石井幸子 石田晴子 近藤記巳子

～ありがとうございました～

メール便に変更しました！

会員のみなさん、気がついてみえますか？

前回5月1日発行から「協議会ニュース」の発送法を変更しました。

協議会の財政は逼迫しています。支出項目のチェックが必要です。そのひとつが、ニュースレターの発送法の見直しでした。

これまでの郵便扱いは定形外で1通120円。今回切り替えをしたメール便は1通80円、その差60円。これが450人、しかも年6回とな

ると大きなコストダウンができます。また多数の資料が同封され重さ250グラムになった場合でも、郵便物では送料270円が、メール便扱いならば160円で発送可能なのです。

現時点では、会員から不都合は届いていませんが、もし何か気づいたことがありましたら下記まで連絡ください。

編集：吉田（最終ページを参照）

事務局：近藤 (052) 822-7460

行事予定

【日 時】9月23日（秋分の日） 午後

【場 所】なごやボランティア・NPOセンター

【ゲスト】村上興正氏…「外来種ハンドブック」を鷺谷いづみ氏と共に監修（地人書館刊）

【内 容】講演会…「（仮）外来種について」

（その他については部会などで検討）

※ブラックバス・ハクビシンなど、外来種が地域にもたらす影響が心配されています。問題解決は日本全土のみならず世界的な課題になっています。みなさんの観察会のフィールドはいかがでしょうか。

※ 尚、会場は定員130席。席に余裕があれば協議会PRをかねて一般にオープンにします。そのため会員参加者数の把握を要します。希望者は各支部長にその旨申し出てください。7月末日締め切り。（支部での取りまとめをお願いします。）

詳細は本紙「協議会ニュース」9月1日号にてお知らせします。

★5月、6月の協議会

5月	
11～12	シロヤシオ・アカヤシオの観察会。
18	理事会がなごやNPO・ボランティアセンターにて開催される。今後実施される各事業の担当者等が決められる。
6月	
7	名古屋支部「ふるさと親子自然観察会」。名城公園。
8	尾張支部「ふるさと親子自然観察会」。森林公園植物園。
21	理事会がなごやNPO・ボランティアセンターにて開催される。規約の変更案、会員管理等について話し合わせる。
28	西三河支部「ふるさと親子自然観察会」。愛知県緑化センター昭和の森。 知多支部「ふるさと親子自然観察会」。東浦町明徳寺川。
29	奥三河支部「ふるさと親子自然観察会」。愛知県民の森。 東三河支部「ふるさと親子自然観察会」。豊川（宝飯郡一宮町江島橋付近）。

協議会口座番号変更のおしらせ

会員の皆様へ 自然観察指導員連絡協議会の郵便局への振り込み（送金）口座番号が変更になりました。今後、郵便局で会費、保険料等を送金して頂く際には、以下の新しい番号をお願いいたします。（会計担当：石田晴子）

口座番号：00820-9-6546

口座名称：愛知県自然観察指導員連絡協議会

■理事会報告

●日時：4月19日 場所：なごやボランティア・NPOセンター 出席者：12名

1. 理事に2名の追加承認(山田・符川)
2. 本年度の事業確認
3. 理事会運営上、出欠席を明確にし各支部長が欠席の場合は代理を立てるよう要請。その他、議題の決定、金融機関の窓口の一本化など
4. 事務局を近藤（名古屋市南区）へ移動
5. 会員名簿の整理：未納入者への督促
6. ニュースレターの発送を宅配業者のメールとする(年間10万円のコストダウン予定)
7. 本年度中の課題として保険料の検討（保険会社）、臨時総会の開催など

●日時：5月18日 場所：なごやボランティア・NPOセンター 出席者：20名

1. 理事会組織の役割分担…本号8ページを参照
2. 9/23 講演会「外来種について」ゲスト 村上正興氏
3. 会員名簿（会費）の整理…入金確認用、ニュースレター用、事務局照合用以上3種の名簿を統合化。会費未納者は本年度中に督促の上、支払いの有無により整理
4. 規約改正の原案を9月末までに行う。11月1日発行の協議会ニュースに掲載予定
5. その他、後援などについて

●日時：6月21日 場所：なごやボランティア・NPOセンター 出席者：12名

1. 規約について…前年から引き継ぎ第13条～22条までの検討
2. 講演会会場：6月24日の受付日に申し込みを行う
3. その他、顧問などについて

この夏のおすすめ

その1 ~くほんのちょっと紹介~

「山溪ハンディ図鑑8 高山に咲く花」

解説/清水建美 写真/木原浩

発行/山と渓谷社 価格/3,000円(税別)

このハンディシリーズの魅力は、花・葉・実などの特徴を多数のローズアップ写真で紹介していること。約700種を掲載。

「ひと目で見分ける250種 高山植物ポケット図鑑」(新潮文庫)

著者/増村征夫 イラスト/増村文子

発行/新潮社 価格/590円(税別)

こんなことはないだろうか。

「イラストだったら細かいところがよくわかるのに・・・」「写真なら雰囲気がわかるのに」

cone/コーン?

尾張支部 大島啓孟

御存知ですか。野外活動家、冒険教育、野外クリエーション、環境教育、など様々な分野や地域で自然を舞台にした活動を進めてきた90以上の団体が集まって2000年5月に生まれたのが自然体験活動推進協議会(略称cone/コーン)。今までそれぞれの観点で指導者を養成してきた各団体が、コーンの定めた共通カリキュラムを取り入れた独自の研修を実施。希望者は、その研修を修了して団体の資格を得ると、「自然体験活動家リーダー(略称コーンリーダー)」として団体の枠を超えて登録されます。但し、自然観察員の資格の有る、我われは、所属する自然保护協会に申請すれば、登録される事になります。

イラストと写真、それぞれのよさを一体化した図鑑。見分けるためのポイントを、カラーイラストでアドバイスした文庫本である。

その2 こんなウォッチング いかが?

☆花と昆虫展 7/23~8/3

東山動植物園 (TEL 052-782-2111)

☆企画展「奥三河の自然」 7/19~8/31

鳳来寺山自然科学博物館 (TEL.05363-5-1001)

☆企画展「外来生物～つれてこられた生きものたち～」 7/19~11/24

琵琶湖博物館 TEL.077-568-4811

☆特別展「日本鳥の巣図鑑」 7/5~8/31

大阪市立自然史博物館 (TEL.06-6697-6221)

注: いずれの施設も外出前に、必ず休館日や入場料など問い合わせください

参考までに、資格を付与するための団体ではないでお間違いない様に、又2003年現在団体の参加は100団体以上、会員数10,000名を超えているそうです。

登録されるとどうなるの?

コーンリーダーはIT時代にふさわしくインターネットを通じて広く一般に公開されます。各省庁や地域行政も注目するコーンは自然体験活動を企画したいユーザーにとって、安心して指導の依頼ができるもの。

コーンリーダーは、そのニーズに応えるべく様々な場面での活躍が期待されています。要するに、野外活動家の縦の連絡でなく横のネットワークを広げることが、おおきな目的だと考えられます。

※お断り 「会員リレー」は今回お休みいたしました。

●編集後記

私にとって最後の編集後記を書かさせていただきます。この度、7月1日付でお隣の長野県に引っ越しすることになり、編集部員を外れることになりました。長野県に行っても藤前干潟やオオタカ・ハチクマなど野生生物の関係では愛知県とは関係が続きますが、名古屋に来て2年1ヶ月、編集部員として約1年の短いお付き合いありがとうございました。自然保護や環境教育をライフワークとしている私としては、公的にはとても苦しい名古屋生活の中で、唯一月1回の編集会議とたまにしか参加できなかった自然観察会だけが、本来の自分を取り戻せる機会でした。新任地でも引き続き長野県連絡会があれば、微力ですが事務局のお手伝いしてゆきたいと思っております。愛知県連絡会で少し心配なのは、編集部員のなり手が少ないことです。月1回程度のペースで開催していた編集会議に参加できなくとも、その人の持てる能力や個性を生かして、編集委員として様々な役割は果たせます。私みたいに何の能力がなくても1年間やってこれたのですから。

新住所や連絡先は以下のとおりですので、もし長野県に足を踏み入れることがあれば是非お寄りください。上高地や乗鞍に行かれるには便利な場所です。引き続き単身赴任ですが、住宅だけはある程度の広さが確保されておりまして、相当な多人数でない限りお泊りいただけます。ただし部屋の中は多分名古屋の住宅と同様汚いとは思いますが。来ていただければ、炊事・洗濯・掃除などの経験もつむことが出来ますよ。特にこれから結婚を考えいらっしゃる若い女性の皆様は大歓迎です。

今までにはない長い編集後記をお読みいただきありがとうございます。愛知県自然観察指導員連絡会の益々のご発展を祈念しながら。さようなら。

新住所等は次のとおりです。

390-1501 長野県南安曇郡安曇村126

TEL/FAX: 0263-941555

メールアドレス

kuniyasu-t@syd.odn.ne.jp(変更なし)

●スタッフ

- 企画 / 編集 / レイアウト 近藤紀己子、符川真弓、吉田裕孝
- 発送 斎竹善行、岩佐雅代、古川俊江、横井邦子、横田法子

愛知県自然観察指導員連絡協議会 「協議会ニュース」編集部

491-0057 愛知県一宮市今伊勢町宮後

字西松山43-1 大野荘B-106

吉田裕孝 Tel/Fax 0586-43-3829

※皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。